

第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画の策定について

1 第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画の追加・変更点について

ページ数	項目	追加・変更内容												
資料 2 表紙裏	はじめに	(追加) ・苫小牧市長の挨拶文を追加。												
資料 2 3 ページ	第 1 章 1 計画策定の背景と趣旨	<p>(変更) ※前回の審議会の意見を受けて記載を変更 1 行目～</p> <table border="1"> <tr> <td>変更前</td> <td>近年、長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中、働き方や家族形態の多様化、地域のつながりの希薄化等により、子どもとふれあう機会、子育てに関心のある地域住民、相談相手が減少しており、子育てをめぐる環境が変わり続けています。</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>近年、長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中、働き方や家族形態の多様化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化等により、大人が子どもとふれあう機会、子育てに関心のある地域住民、相談相手が減少しており、子どもの育ちや子育てをめぐる環境が変わり続けています。このため、子どもの健やかな成長や安心して子育てを行うには、<u>地域と家庭の結びつきや親子の心の健康の保持・増進が重要となっています。</u></td> </tr> </table> <p>13 行目～</p> <table border="1"> <tr> <td>変更前</td> <td>平成 29 年度には計画の中間見直しを行い、より実態に沿うよう子育て支援施策の見直しを行っています。</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>平成 29 年度には現状の二ーズ・実績を踏まえて計画の中間見直しを行っています。</td> </tr> </table> <p>20 行目～</p> <table border="1"> <tr> <td>変更前</td> <td>このような背景のもと、5 年を一期とする現行の「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」は平成 31 年度（令和元年度）を計画の最終年度としていることから、本市では、新たに「第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、引き続き、総合的な子育て関連施策を推進していきます。</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>このような背景のもと、家庭における子育ての不安や孤立感を和らげ、親子の心を育み、すべての子どもの育ちと子育てを社会全体で支援するため、本市では、平成 31 年度（令和元年度）で終了する現行の「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」に代わる「第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、総合的な子育て関連施策を推進していきます。</td> </tr> </table>	変更前	近年、長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中、働き方や家族形態の多様化、地域のつながりの希薄化等により、子どもとふれあう機会、子育てに関心のある地域住民、相談相手が減少しており、子育てをめぐる環境が変わり続けています。	変更後	近年、長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中、働き方や家族形態の多様化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化等により、大人が子どもとふれあう機会、子育てに関心のある地域住民、相談相手が減少しており、子どもの育ちや子育てをめぐる環境が変わり続けています。このため、子どもの健やかな成長や安心して子育てを行うには、 <u>地域と家庭の結びつきや親子の心の健康の保持・増進が重要となっています。</u>	変更前	平成 29 年度には計画の中間見直しを行い、より実態に沿うよう子育て支援施策の見直しを行っています。	変更後	平成 29 年度には現状の二ーズ・実績を踏まえて計画の中間見直しを行っています。	変更前	このような背景のもと、5 年を一期とする現行の「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」は平成 31 年度（令和元年度）を計画の最終年度としていることから、本市では、新たに「第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、引き続き、総合的な子育て関連施策を推進していきます。	変更後	このような背景のもと、家庭における子育ての不安や孤立感を和らげ、親子の心を育み、すべての子どもの育ちと子育てを社会全体で支援するため、本市では、平成 31 年度（令和元年度）で終了する現行の「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」に代わる「第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、総合的な子育て関連施策を推進していきます。
変更前	近年、長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中、働き方や家族形態の多様化、地域のつながりの希薄化等により、子どもとふれあう機会、子育てに関心のある地域住民、相談相手が減少しており、子育てをめぐる環境が変わり続けています。													
変更後	近年、長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中、働き方や家族形態の多様化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化等により、大人が子どもとふれあう機会、子育てに関心のある地域住民、相談相手が減少しており、子どもの育ちや子育てをめぐる環境が変わり続けています。このため、子どもの健やかな成長や安心して子育てを行うには、 <u>地域と家庭の結びつきや親子の心の健康の保持・増進が重要となっています。</u>													
変更前	平成 29 年度には計画の中間見直しを行い、より実態に沿うよう子育て支援施策の見直しを行っています。													
変更後	平成 29 年度には現状の二ーズ・実績を踏まえて計画の中間見直しを行っています。													
変更前	このような背景のもと、5 年を一期とする現行の「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」は平成 31 年度（令和元年度）を計画の最終年度としていることから、本市では、新たに「第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、引き続き、総合的な子育て関連施策を推進していきます。													
変更後	このような背景のもと、家庭における子育ての不安や孤立感を和らげ、親子の心を育み、すべての子どもの育ちと子育てを社会全体で支援するため、本市では、平成 31 年度（令和元年度）で終了する現行の「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」に代わる「第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、総合的な子育て関連施策を推進していきます。													

ページ数	項目	追加・変更内容								
資料 2 5 ページ	第 1 章 4 策定体制	<p>(追加) ※パブリックコメントの終了を受けて記載を追加 (3) パブリックコメントの実施 令和元年 12 月 25 日から令和 2 年 1 月 23 日までの 30 日間で、市ホームページ、市役所窓口、各出張所・コミュニティセンター等で計画案を公表し、市民の皆様からの意見を募集するパブリックコメントを実施しました。 なお、意見の提出はありませんでした。</p>								
資料 2 32 ページ	第 2 章 9 苫小牧市の子ども・子育て支援の課題	<p>(変更) ※前回の審議会の意見を受けて記載を変更 (1) 親子の健康増進の支援</p> <table border="1" data-bbox="703 535 1489 1122"> <tr> <td data-bbox="703 535 820 813">変更前</td> <td data-bbox="820 535 1489 813">子育てに関する相談相手の減少や地域とのつながりの希薄化など子育てに関する環境が厳しくなる中で、不安がなく、安心して子どもを産み、子どもを育てるためには妊娠から出産、子育てに至るまでの切れ目ない包括的な支援、生まれてきた子どもの健康状況の把握、疾病の予防、小児医療の充実など、親子の心身を健康に保つ継続的な支援を行っていくことが必要です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 813 820 1122">変更後</td> <td data-bbox="820 813 1489 1122">子育てに関する相談相手の減少や地域とのつながりの希薄化など子育てに関する環境が厳しくなる中で、不安がなく、安心して子どもを産み、健やかに子どもを育てるためには妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない包括的な支援を通して、親子の心の健康を保持・増進すること、生まれてきた子どもの健康状況を把握すること、疾病を予防すること、小児医療を充実させることなど、親子の心身を健康に保つ継続的な支援を行っていくことが必要です。</td> </tr> </table> <p>(2) 子どもの教育・保育環境の充実 2 項目目</p> <table border="1" data-bbox="703 1234 1489 2063"> <tr> <td data-bbox="703 1234 820 1630">変更前</td> <td data-bbox="820 1234 1489 1630">平成 27 年度から開始された子ども・子育て支援新制度では教育・保育の質の向上が大きな目的の一つとされており、これまでも取組を行ってきましたが、社会進出する女性の増加による保育ニーズの更なる増加や保護者の働き方及びライフスタイルの多様化による教育・保育ニーズの多様化に応えるため、幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育事業所、放課後児童クラブ等の施設の充実を図る必要があります。また、子どもたちが幼稚園、保育所、認定こども園から小学校に円滑に接続するため、教諭等の資質向上に努め、より質の高い教育・保育の提供体制を整備する必要があります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1630 820 2063">変更後</td> <td data-bbox="820 1630 1489 2063">平成 27 年度から開始された子ども・子育て支援新制度では、教育・保育の質の向上が大きな目的の一つとされており、これまでも取組を行ってきましたが、<u>長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中</u>、社会進出する女性の増加による保育ニーズの更なる増加や保護者の働き方及びライフスタイルの多様化による教育・保育ニーズの多様化に応えるため、幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育事業所及び放課後児童クラブ等の充実を図る必要があります。また、子どもたちが幼稚園、保育所、認定こども園から小学校に円滑に接続するため、教諭等の資質向上に努め、より質の高い教育・保育の提供体制を整備する必要があります。</td> </tr> </table>	変更前	子育てに関する相談相手の減少や地域とのつながりの希薄化など子育てに関する環境が厳しくなる中で、不安がなく、安心して子どもを産み、子どもを育てるためには妊娠から出産、子育てに至るまでの切れ目ない包括的な支援、生まれてきた子どもの健康状況の把握、疾病の予防、小児医療の充実など、親子の心身を健康に保つ継続的な支援を行っていくことが必要です。	変更後	子育てに関する相談相手の減少や地域とのつながりの希薄化など子育てに関する環境が厳しくなる中で、不安がなく、安心して子どもを産み、健やかに子どもを育てるためには妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない包括的な支援を通して、親子の心の健康を保持・増進すること、生まれてきた子どもの健康状況を把握すること、疾病を予防すること、小児医療を充実させることなど、親子の心身を健康に保つ継続的な支援を行っていくことが必要です。	変更前	平成 27 年度から開始された子ども・子育て支援新制度では教育・保育の質の向上が大きな目的の一つとされており、これまでも取組を行ってきましたが、社会進出する女性の増加による保育ニーズの更なる増加や保護者の働き方及びライフスタイルの多様化による教育・保育ニーズの多様化に応えるため、幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育事業所、放課後児童クラブ等の施設の充実を図る必要があります。また、子どもたちが幼稚園、保育所、認定こども園から小学校に円滑に接続するため、教諭等の資質向上に努め、より質の高い教育・保育の提供体制を整備する必要があります。	変更後	平成 27 年度から開始された子ども・子育て支援新制度では、教育・保育の質の向上が大きな目的の一つとされており、これまでも取組を行ってきましたが、 <u>長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中</u> 、社会進出する女性の増加による保育ニーズの更なる増加や保護者の働き方及びライフスタイルの多様化による教育・保育ニーズの多様化に応えるため、幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育事業所及び放課後児童クラブ等の充実を図る必要があります。また、子どもたちが幼稚園、保育所、認定こども園から小学校に円滑に接続するため、教諭等の資質向上に努め、より質の高い教育・保育の提供体制を整備する必要があります。
変更前	子育てに関する相談相手の減少や地域とのつながりの希薄化など子育てに関する環境が厳しくなる中で、不安がなく、安心して子どもを産み、子どもを育てるためには妊娠から出産、子育てに至るまでの切れ目ない包括的な支援、生まれてきた子どもの健康状況の把握、疾病の予防、小児医療の充実など、親子の心身を健康に保つ継続的な支援を行っていくことが必要です。									
変更後	子育てに関する相談相手の減少や地域とのつながりの希薄化など子育てに関する環境が厳しくなる中で、不安がなく、安心して子どもを産み、健やかに子どもを育てるためには妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない包括的な支援を通して、親子の心の健康を保持・増進すること、生まれてきた子どもの健康状況を把握すること、疾病を予防すること、小児医療を充実させることなど、親子の心身を健康に保つ継続的な支援を行っていくことが必要です。									
変更前	平成 27 年度から開始された子ども・子育て支援新制度では教育・保育の質の向上が大きな目的の一つとされており、これまでも取組を行ってきましたが、社会進出する女性の増加による保育ニーズの更なる増加や保護者の働き方及びライフスタイルの多様化による教育・保育ニーズの多様化に応えるため、幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育事業所、放課後児童クラブ等の施設の充実を図る必要があります。また、子どもたちが幼稚園、保育所、認定こども園から小学校に円滑に接続するため、教諭等の資質向上に努め、より質の高い教育・保育の提供体制を整備する必要があります。									
変更後	平成 27 年度から開始された子ども・子育て支援新制度では、教育・保育の質の向上が大きな目的の一つとされており、これまでも取組を行ってきましたが、 <u>長期的な少子高齢化により子どもの人数が減少している中</u> 、社会進出する女性の増加による保育ニーズの更なる増加や保護者の働き方及びライフスタイルの多様化による教育・保育ニーズの多様化に応えるため、幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育事業所及び放課後児童クラブ等の充実を図る必要があります。また、子どもたちが幼稚園、保育所、認定こども園から小学校に円滑に接続するため、教諭等の資質向上に努め、より質の高い教育・保育の提供体制を整備する必要があります。									

ページ数	項目	追加・変更内容																		
資料 2 32 ページ	第 2 章 9 苫小牧市子ども・子育て支援の課題	(変更) ※前回の審議会の意見を受けて記載を変更 (2) 子どもの教育・保育環境の充実 3 項目目 <table border="1"> <tr> <td>変更前</td> <td>子どもの心身の健やかな成長を育むには、学校教育が果たす役割が多くなっており、基礎学力の向上だけではなく、子どもたちが自ら考え、行動する力の育成や豊かな人間性を育む心の教育などが期待されており、家庭や地域と学校がそれぞれの役割を担いつつ連携・協力し、地域全体で「生きる力」を育んでいく必要があります。</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>子どもの心身の健やかな成長を育むには、学校教育が果たす役割が多くなっており、基礎学力の向上だけではなく、子どもたちが自ら考え、行動する力の育成や豊かな人間性を育む心の教育などが期待されています。このような中で、保護者が子育てについての第一義的な責任を有するという基本的認識のもと基本的な教育を行う家庭、子どもの成長と子育て家庭を見守り支えていく地域、一人ひとりの子どもの状況に応じた教育を提供する学校のそれぞれが役割を担いつつ連携・協力し、地域全体で「生きる力」を育んでいく必要があります。</td> </tr> </table>	変更前	子どもの心身の健やかな成長を育むには、学校教育が果たす役割が多くなっており、基礎学力の向上だけではなく、子どもたちが自ら考え、行動する力の育成や豊かな人間性を育む心の教育などが期待されており、家庭や地域と学校がそれぞれの役割を担いつつ連携・協力し、地域全体で「生きる力」を育んでいく必要があります。	変更後	子どもの心身の健やかな成長を育むには、学校教育が果たす役割が多くなっており、基礎学力の向上だけではなく、子どもたちが自ら考え、行動する力の育成や豊かな人間性を育む心の教育などが期待されています。このような中で、保護者が子育てについての第一義的な責任を有するという基本的認識のもと基本的な教育を行う家庭、子どもの成長と子育て家庭を見守り支えていく地域、一人ひとりの子どもの状況に応じた教育を提供する学校のそれぞれが役割を担いつつ連携・協力し、地域全体で「生きる力」を育んでいく必要があります。														
変更前	子どもの心身の健やかな成長を育むには、学校教育が果たす役割が多くなっており、基礎学力の向上だけではなく、子どもたちが自ら考え、行動する力の育成や豊かな人間性を育む心の教育などが期待されており、家庭や地域と学校がそれぞれの役割を担いつつ連携・協力し、地域全体で「生きる力」を育んでいく必要があります。																			
変更後	子どもの心身の健やかな成長を育むには、学校教育が果たす役割が多くなっており、基礎学力の向上だけではなく、子どもたちが自ら考え、行動する力の育成や豊かな人間性を育む心の教育などが期待されています。このような中で、保護者が子育てについての第一義的な責任を有するという基本的認識のもと基本的な教育を行う家庭、子どもの成長と子育て家庭を見守り支えていく地域、一人ひとりの子どもの状況に応じた教育を提供する学校のそれぞれが役割を担いつつ連携・協力し、地域全体で「生きる力」を育んでいく必要があります。																			
資料 2 47 ページ 48 ページ	第 4 章 4 教育・保育施設の量の見込み及び確保の方策	(変更) ※少しでも早い時期に 0～2 歳児の受入枠を増やすため小規模保育事業所の施設数、0～2 歳の確保方策を変更 <table border="1"> <thead> <tr> <th>(施設数)</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td>9</td> <td>10 (1)</td> <td>12 (2)</td> <td>13 (1)</td> <td>15 (2)</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>9</td> <td>11 (2)</td> <td>12 (1)</td> <td>13 (1)</td> <td>15 (2)</td> </tr> </tbody> </table>	(施設数)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	変更前	9	10 (1)	12 (2)	13 (1)	15 (2)	変更後	9	11 (2)	12 (1)	13 (1)	15 (2)
(施設数)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度															
変更前	9	10 (1)	12 (2)	13 (1)	15 (2)															
変更後	9	11 (2)	12 (1)	13 (1)	15 (2)															
資料 2 69 ページ 70 ページ	第 5 章 基本目標 2-10 多様な体験活動の充実	(追加) ※現在、実施している施策があるため、施策を追加 「40 キッズタウン開催事業」、「41 こども研修事業」																		
資料 2 75 ページ 83 ページ	第 5 章 基本目標 3-7 ひとり親家庭等への経済的支援の充実	(変更) ※より適切な目標に所属させるため、所属する目標を変更 「3-7 ひとり親家庭等への経済的支援の充実」 <table border="1"> <tr> <td>変更前</td> <td>基本目標 6 一人ひとりの子どもの特性に配慮したきめ細かな支援をより充実します 「6-3 ひとり親家庭等への経済的支援の充実」</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>基本目標 3 それぞれの家庭環境に応じたきめ細かな支援をします 「3-7 ひとり親家庭等への経済的支援の充実」</td> </tr> </table>	変更前	基本目標 6 一人ひとりの子どもの特性に配慮したきめ細かな支援をより充実します 「6-3 ひとり親家庭等への経済的支援の充実」	変更後	基本目標 3 それぞれの家庭環境に応じたきめ細かな支援をします 「3-7 ひとり親家庭等への経済的支援の充実」														
変更前	基本目標 6 一人ひとりの子どもの特性に配慮したきめ細かな支援をより充実します 「6-3 ひとり親家庭等への経済的支援の充実」																			
変更後	基本目標 3 それぞれの家庭環境に応じたきめ細かな支援をします 「3-7 ひとり親家庭等への経済的支援の充実」																			
資料 2 (92 ページ)	第 5 章 基本目標 5-3 子どもの健全育成の推進	(削除) ※事業廃止を含めた見直しを検討しているため削除 「107 青少年委員委嘱事業」																		
資料 2 115 ページ	資料 1 苫小牧市子ども・子育て審議会委員名簿	(追加) 苫小牧市子ども・子育て審議会委員名簿 (令和 2 年 3 月 1 日現在)																		
資料 2 116 ページ	資料 2 苫小牧市子ども・子育て審議会開催経過	(追加) 第 2 期苫小牧市子ども・子育て審議会開催経過																		

2 今後のスケジュールについて

時期	項目
2月下旬	第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画冊子印刷業者決定・印刷依頼
3月下旬	第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画冊子完成
3月下旬～	市役所庁内関係者、子ども・子育て審議会委員、苫小牧市議会議員、幼稚園、保育所、市関連施設等へ第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画冊子を順次配布